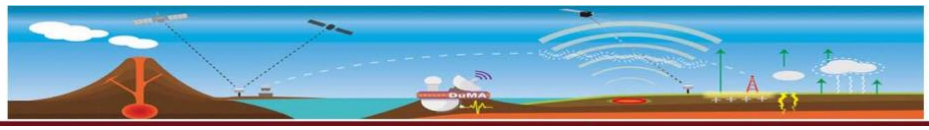


DuMA ニュースレター *2025年8月25日*

8月26日は「火山防災の日」

9月1日が「防災の日」という事はよく知られているかと思います。この日付は1923年9月1日に発生した関東大震災によるものです。制定は1960年と古く、歴史のあるものです。

それに対し本日紹介する「火山防災の日」は、2023年に設定されたもので、まだ歴史の浅い記念日です。設置の目的は、国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、となっています。なぜこの日が選定されたのかは、1911年に日本初の火山観測所が浅間山に設置された8月26日に由来します。

日本には111の活火山があり、噴火による噴石や火砕流、火山灰などがこれまで多くの命や暮らしに深刻な影響を及ぼしてきました。かつては「休火山」や「死火山」という言葉も使われていましたが、数百年～数千年の休止を経て再び噴火する可能性があることから、現在は「活火山」という表現に統一されています。

21世紀もすでに四半世紀が経過していますが、今のところ今世紀の「大噴火」は新しい島が誕生した西之島噴火の1件です。

次にお示しする図は、中央防災会議の資料に加筆したものですが、20世紀は中規模の噴火も2件のみでした。実は高度経済成長期は大地震も大噴火も少なく、ある意味自然にも助けられたのだと考えています。日本列島では21世紀には大規模噴火が数回は発生するであろうと考えられています。

17世紀以降の火山噴火

◎ 最近の火山噴火はごく小規模だが、21世紀中には中～大規模の噴火が5～6回発生すると想定すべき

	噴出物の量		
	10億m³以上	3～10億m³	1～3億m³
17世紀	北海道駒ヶ岳(1640) 有珠山(1663) 樽前山(1667)	北海道駒ヶ岳(1694)	
18世紀	樽前山(1739) 桜島(1779-82)	富士山(1707) 伊豆大島(1777-79) 浅間山(1783) 雲仙岳(1792)	有珠山(1769)
19世紀	磐梯山(1888)	有珠山(1822) 有珠山(1853) 北海道駒ヶ岳(1856)	諏訪之瀬島(1813)
20世紀	桜島(1914)	北海道駒ヶ岳(1929) 三宅島(2000)	薩摩硫黄島(1934-35) 有珠山(1943-45) 桜島(1946) 有珠山(1977-78) 雲仙岳(1990-95)
21世紀	西之島(2013～)	?	?

出典：平成21年4月21日 第24回 中央防災会議 藤井 敏嗣 東大地震研教授（中央防災会議専門委員）説明資料に加筆

0.007

2014年の御岳噴火は雲仙の1/400

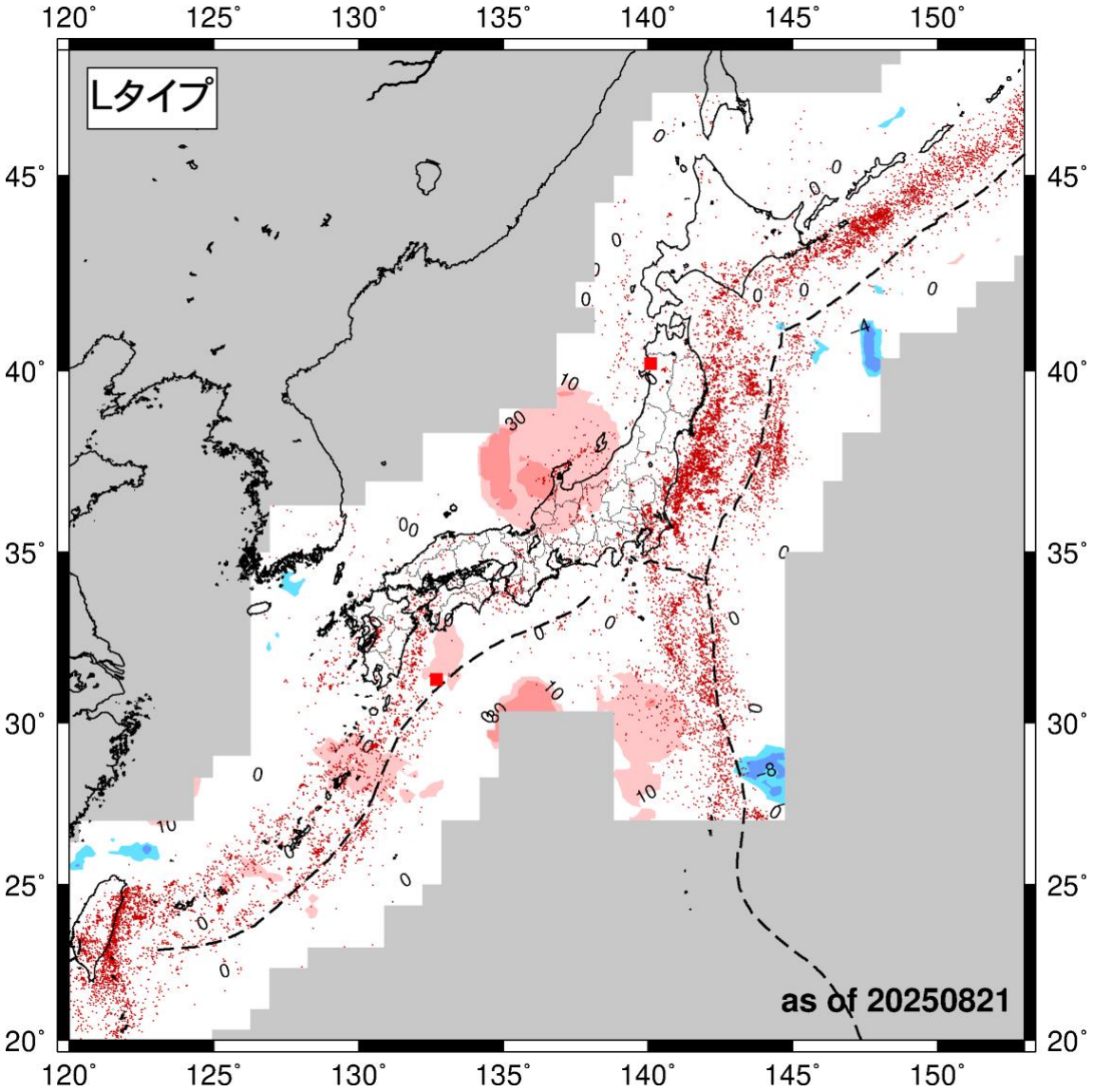
2014年の御嶽噴火は大きな人的被害を出してしまいましたが、これは1）秋の行楽シーズン、2）土曜日、3）好天、4）お昼時というある意味山頂付近に最も登山者が多い時期に発生したため、被害が大きくなってしまったのです。ただ噴火規模としては、実は極めて小規模だったのです。

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、**DuMA**は一切責任を問わないものとします。　提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。　**DuMA**ニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。　ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。（個人会員）―　記事の無断転用は禁止します。―　本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。

皆様も活火山に登山される場合には、ぜひ噴火警戒レベルの確認や、ニュース等で最近の火山活動をお調べになってから登山をお願いします。さらに最近では熊の出没・目撃状況なども確認しなければいけないのだと推測しています。

日本およびその周辺の広域地下天気図®

7月28日のニュースレターに続き、現在の気象庁の観測網で解析できる最大範囲の領域の解析です。今週号では8月21日時点のＬタイプ地下天気図をお示しします。



前回からの変化で一番大きいのが、北海道沖・青森沖に見られていた静穏化領域がかなり縮小している事です。ちなみに先週号（8月18日号）は、陸域でマグニチュード5クラスという日本では被害がそれほど出ない地震活動を反映する図と考えており、今週号での解析は、マグニチュード7クラスを反映する図とお考えください。

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、**DuMA**は一切責任を問わないものとします。　提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。　**DuMA**ニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。　ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。（個人会員）―　記事の無断転用は禁止します。―　本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。